

—「知床岬で外来種根絶作戦！」—
講師:野別 貴博氏／公益財団法人 知床財団
平成24年7月28日(土)9:00～16:00

◆講座内容の概要

知床半島では、外来種であるアメリカオニアザミやセイヨウオオマルハナバチなどの駆除活動を行なっています。昨年に続き、今年も斜里町と羅臼町にお住まいの皆さんと一緒に知床岬まで行き、外来種のアメリカオニアザミとセイヨウオオマルハナバチの駆除活動を実施しました。

出発時は霧が立ち込めていましたが、知床岬の作業場所に到着すると天気は一変、青空が広がり、絶好の野外作業日和となりました。作業前には、近年の知床岬における植生の変化などについて講師からお話を聞き、植生回復のために行なわれている環境省事業についても簡単に解説いただきました。

作業道具を一式そろえ刈り取り方法を確認して、いざ作業開始です。知床岬の段丘上から海岸におりる斜面にかけて、16名の参加者が銘々にアメリカオニアザミを刈り取って行きました。アメリカオニアザミは全身にするどいトゲを持っているため、刈り取り作業は普通の草刈り仕事と違ってとても大変です。しかし、参加者の皆さんは皮の手袋をはめて果敢に立ち向かい、次々と刈り取り作業を進めてくれました。当日、セイヨウオオマルハナバチは確認できませんでしたが、参加者の皆さんが刈り取ってくれたアメリカオニアザミはトラックの荷台いっぱいになる程の量となりました。

作業中には、参加した皆さんから「今後、このような作業があるなら、ぜひまた参加していきたい」など意欲あふれる嬉しい言葉が聞かれました。

帰りの船からはシャチの群れを観察することができ、参加者の皆さんは、予想外のご褒美に大満足の様子でした。



写真. アメリカオニアザミを刈り取る参加者.



写真. 作業を行なった知床岬の様子と作業する参加者.